

「豊田市産業振興プラン2025-2029」（素案）の概要

1 豊田市産業振興プラン2025-2029の概要

「豊田市産業振興プラン2025-2029」は、市の上位計画である「第9次豊田市総合計画」と整合を図りながら、豊田市産業振興委員会からの助言を得て策定を進めています。



2 豊田市産業振興プラン2025-2029の策定スケジュール

令和5年度												令和6年度											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
						第1回					第2回				第1回				第2回			第3回	
						産業委員会					産業委員会				産業委員会				産業委員会			産業委員会	
			物流事業者実態調査					事業者ヒアリング														産業振興	
			製造業中小企業者実態調査															ものづくり企業実態調査				プラン決定	
																		建設業実態調査					
						市民アンケート調査															パブリックコメント		

3 豊田市産業振興プラン2021-2024の主な実績と評価

◆指標 ※2023年度末（令和5年度末）時点

- ・目標達成済み：15件、目標達成見込み：10件
- ・未達成見込み：3件（①ワーク導入支援補助金件数、②インバウンド人材育成者数、③ワークライフバランス賛同事業者数）

未達見込み理由：コロナによる影響などから、①感染対策の意味合いでの導入は頭打ちとなり事業変更したため②令和2年度の募集を中止したため③コロナ対応業務が優先されたことにより、企業のワークライフバランスへの関心が一時的に低下したと考えられるため。

◆実施した主な事業

- ・花本産業団地拡張用地の整備及び分譲完了
- ・市内企業のデジタル化やカーボンニュートラル支援
- ・新型コロナウイルス対応（雇用調整補助金等）
- ・オープンイノベーション推進やイノベーション人材育成（ものづくりミライ塾等）
- ・働き方改革の推進（事業所表彰、補助金等）

◆ 総評

- ・投資の受皿となる基盤整備については、花本産業団地拡張用地の整備事業を円滑に進め、着実に推進。また、DXの推進やカーボンニュートラルへの取組に対する支援については、企業の取組状況に応じ適時事業を実施。加えて、市内企業の新規事業展開に向けた取組を促進。一方で、多くの業種で顕在化している人手不足への対応については、さらなる人材発掘の手法や、関係団体等との更なる連携強化が必要。

4 本市の産業を取り巻く社会潮流

不確実性の高い社会経済情勢や自動車産業大変革期中、それらの動向を注視しつつ、**人口減少社会やGX・DX、スタートアップエコシステムの形成等の新たな潮流に対応**する必要があります。

- ・ **資源・エネルギー問題の深刻化**（価格高騰と調達難、経済安全保障の顕在化）
- ・ **自動車産業の変革**（ギガキャストなどの生産方式の革新、SDV などによるクルマにおける付加価値の変化、次世代自動車の世界的普及、人口減少高齢化に伴う内需の減少、生産の海外シフトと国内生産の減少への懸念）
- ・ 生成AI、メタバース、次世代通信規格（IWON）等の**新しい情報通信技術**への対応
- ・ **消費リーダーとしてのZ世代の台頭**（モノからヒト・コトへ）
- ・ **人生100 年時代**における豊かさの再定義（ウェルビーイングの実現）
- ・ **新しい資本主義**への取組（GX・DX等投資、スタートアップ育成など）
- ・ **多様な働き方、キャリアパス**の定着（リモート・テレワーク、副業、リスキリングなど）
- ・ **大廃業時代の到来、企業の高齢化と技術承継**への懸念
- ・ 社会情勢などによる**サプライチェーンの寸断リスク**（物流・建設業の2024 年問題など）

5 本市産業の現状と課題

- 大手自動車メーカーの動向に左右される産業構造であり、起業や新規事業展開への意欲・関心は低い傾向にあります。今後の産業構造や社会情勢の急激な変化への対応を見据え、企業は個々の強みを生かした事業展開を図っていくことが重要となります。
- 女性の年齢別労働力率の谷の深さや製造業への労働力集積等、当市の特性を加味しながら、多様な働き方ができる職場環境を整備し、地域産業における人材不足・採用難へ対応する必要があります。
- 人材不足やノウハウの不足で停滞しているGXやDXを推進し、市内企業の生産性や競争力の向上を目指すことが求められます。

◆ データ分析調査

- ・ **産業構造**は自動車産業に大きく依存しており、完成車メーカーの動向・業績に左右される。
- ・ **産業の新陳代謝**は周辺都市等に比べ活発でない。起業に対する若年層の意欲・関心も低い状況。また、成長産業である**IT産業の集積率は低い**。
- ・ **労働力**は男性を中心に、全国的には減少傾向にある中、比較的維持されている。
- ・ **中小事業所**が減少し、相対的に**中堅以上の事業所の存在感**が高まっている。

◆ 市民アンケート調査

- ・ **起業に“関心がない”が7割。多様な働き方への要望は、“副業・兼業”が3割強。就労に向けて必要な支援**として“柔軟な勤務時間”が6割程度、“休暇取得のしやすさ”が5割程度。

◆ 事業者等ヒアリング調査

- **DX、GX**など先導的な取組に対して補助金等積極的に支援してほしい。(大企業、支援機関)
- **公的支援の対象**として、積極的に取組を進めようとする意欲の高い事業者を対象とすべき。
(中堅・中小企業)
- **補助制度の情報**について、事業者は銀行担当者經由で入手することが多い。(物流、支援機関)
- **補助制度の手続**を簡素化し、事業者の負担を軽減することが望まれる。(支援機関)

◆ 豊田市ものづくり中小企業者実態調査

- ・ **強み**は生産加工技術、**弱み**は人材育成・確保や市場開拓など営業力。
- ・ **3～5年先の事業見通し**は、“現在の事業規模を維持”が大半。直近の物価高に対する価格転嫁は“できている”事業所は半数程度。また、**BEVの普及に伴う売上高への影響**は“わからない”事業者が過半。
- ・ **中核人材の育成**は時間やノウハウ不足により取り組めていない。**働き方改革**は特定社員への業務集中への懸念から実施できていない。
- ・ **デジタル化への対応**は、過半数が“特に進めていない”“ほぼ手つかず”。**カーボンニュートラル**に向け取り組む事業者は2割超に留まる。
- ・ **豊田市へ期待する支援施策**は、人材育成・確保の支援、生産設備等への設備投資の支援。

◆ 物流事業者実態調査

- ・ **トラック等のドライバーの不足**は8割強と深刻。2024年問題への対応として、“対応を検討している”が7割弱。
- ・ **豊田市へ期待する支援施策**は、人材育成・確保の支援、設備投資の支援、事業用地の確保。

基本理念 挑戦と持続的な発展

- 市内企業が固有の強みを把握、認識した上で、社会や産業の潮流に応じて、新規事業の推進や取引先への提案、職場環境の改革、積極的な採用活動等、意欲を持って挑戦ができる土壌を形成します。
- 想定外の構造転換や技術革新が生じる可能性のある不確実性の高い中でも、変化を前向き・柔軟に受容し、脱炭素やデジタル化等の社会的要請に応えながら、産業構造を高度化し、地域産業の持続的な発展を目指します。

基本方針

1 地域産業の持続的発展

- ものづくり産業の集積地としての強みを生かした市内事業者の事業基盤整備・強化
- 次世代モビリティ、ソフトウェアなど成長産業の集積の促進

基本施策

1 事業基盤の整備と強化

- ①次世代自動車等への対応（技術開発支援）
- ②経営力強化
- ③事業承継支援
- ④サプライチェーン強靱化の支援（2024年問題対応）
- ⑤生産性向上や省人化に向けた支援

2 成長産業の創出

- ①成長産業の誘致と育成
- ②産業用地整備の推進
- ③民間企業による開発事業の支援・促進

2 GX・DXの推進

- 脱炭素化やデジタル化など、ものづくり産業の競争力の維持・発展に必要不可欠な取組促進
- 専門人材の育成・確保によるノウハウの蓄積

3 GX へ向けた取組への支援

- ①カーボンニュートラルの取組や次世代エネルギー活用の促進
- ②先進的なGX関連技術の導入支援

4 DX へ向けた取組への支援

- ①多様なステークホルダーが参画するプラットフォームによる企業間ネットワークの促進
- ②DXに向けたデジタル化の促進
- ③デジタル人材育成

3 人材確保への支援・多様な働き方の促進

- 企業の人的資本経営の推進に向けた支援
- 誰もが働きやすく、活躍でき、多様な選択を実現するための環境構築に向けた求人求職者支援

5 産業人材の担い手確保と育成への支援・多様な人材活躍や柔軟な働き方に向けた就労支援

- ①人材（働き手）の確保・こどもを始めとする将来の担い手へのキャリア支援
- ②求職者や就業者へのスキルアップ支援
- ③働き方改革推進

4 新たな事業展開の促進

- 新規事業開発や販路拡大など、新規事業展開に向けた支援
- 新たなプレイヤーの支援体制の構築

6 新事業展開やイノベーション創出の支援

- ①新規事業創出の支援
- ②販路開拓・拡大支援
- ③新産業育成のための研究開発支援

7 新たなプレイヤーの活躍促進

- ①新たなプレイヤーと市内企業の連携・協業
- ②イノベーションが生まれ続けるエコシステムの構築

7 計画期間

- ◆第9次豊田市総合計画の「ミライ実現戦略2030」の計画期間と同様に2025年度から2029年度の5か年度とします。

8 推進体制

- ◆本プランの推進にあたっては、庁内関係部局との連携により、目指す姿の実現に取り組みます。
- ◆「豊田市産業振興委員会」からの助言を得ながら、本プランの効率的かつ効果的な推進を図ります。

9 進捗管理

- ◆「第9次豊田市総合計画」との整合を図り、成果指標を活用し、進捗を管理します。
- ◆毎年、成果指標等をもとに進捗評価をおこない、事業の新設、統廃合などの見直しをおこなうものとします。